



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 07028887 A

(43) Date of publication of application: 31 . 01 . 95

(51) Int. Cl.

G06F 17/60

(21) Application number: 05153971

(22) Date of filing: 24 . 06 . 93

(71) Applicant:

OKI ELECTRIC IND CO LTD

(72) Inventor:

 HATORI HITOSHI  
 KUROKI YUKA  
 URATA HARUSHIGE

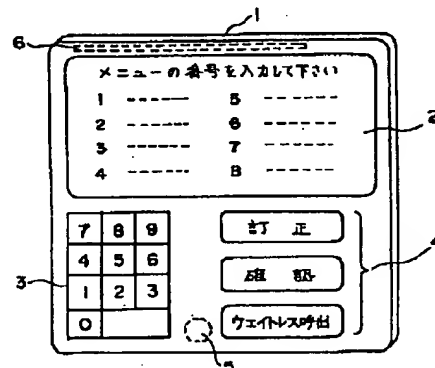
(54) ORDER TERMINAL

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(57) Abstract:

**PURPOSE:** To obtain the order terminal by which a customer himself can operate directly an order, service to the customer is improved by informing the customer about information of a waiting time, etc., and also, personal expenses are reduced, the turnover rate is raised, and a job of a restaurant 'fast food' such as centralized control of the information can be executed efficiently.

**CONSTITUTION:** This order terminal is provided with a liquid crystal display panel 2 for displaying an operation guide of an ordering operation and a menu, a ten key 3 which is operated by the operation guide, and by which at least the menu and its quantity are subjected to selecting operation, a function key 4 by which an operation of confirmation or cancellation is executed, and a control circuit for displaying the contents of an order from an operating part on the liquid crystal display panel 2, and transmitting the contents of its order to the center for executing an order processing through a transmitting circuit, when the operation of confirmation is executed.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 7 - 2 8 8 8 7

(43) 公開日 平成 7 年 (1995) 1 月 3 1 日

(51) Int. Cl.  
G06F 17/60

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

8724-5L

G06F 15/21

330

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平 5 - 1 5 3 9 7 1

(22) 出願日 平成 5 年 (1993) 6 月 2 4 日

(71) 出願人 0 0 0 0 0 0 2 9 5

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号

(72) 発明者 羽鳥 仁

東京都港区虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電  
気工業株式会社内

(72) 発明者 黒木 由佳

東京都港区虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電  
気工業株式会社内

(72) 発明者 浦田 春茂

東京都港区虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電  
気工業株式会社内

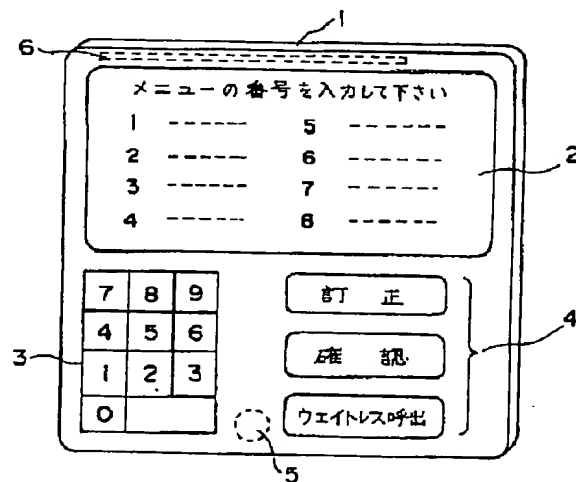
(74) 代理人 弁理士 佐々木 宗治 (外 3 名)

(54) 【発明の名称】 オーダターミナル

(57) 【要約】

【目的】 お客様自身が直接注文の操作ができ、お客様に待ち時間等の情報を知らせる等のお客様へのサービス向上、さらに、人件費削減、回転率アップ、情報の集中管理等のレストラン・ファーストフードの業務の効率化を図ることができるオーダターミナルを得ることを目的とする。

【構成】 注文操作の操作案内及びメニューを表示する液晶表示パネル 2 と、操作案内に従って操作され、少なくともメニュー及びその数量が選択操作されるテンキー 3 と、確認又は取消しの操作がなされるファンクションキー 4 と、操作部からの注文内容を液晶表示パネル 2 に表示させ、確認の操作がなされると、その注文内容を、注文処理を行うセンターに送信回路 2 2 を介して伝送する制御回路 2 0 とを備えたものである。



実施例 1 のオーダターミナルの外観を示す平面図

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 注文操作の操作案内及びメニューを表示する表示手段と、

前記操作案内に従って操作され、少なくともメニュー及びその数量が選択操作されると共に、確認又は取消しの操作がなされる操作部と、

該操作部からの注文内容を前記表示手段に表示させ、確認の操作がなされると、その注文内容を、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送する制御手段とを備えたことを特徴とするオーダーミナル。

【請求項 2】 注文操作の操作案内を表示する表示手段と、

メニューを絵で表示したメニュー表示手段と、

メニュー表示手段に表示された各メニューに設けられ、前記操作案内に従って操作され、少なくともメニュー及びその数量が選択操作される選択操作部と、

前記操作案内に従って操作され、注文内容の確認又は取消しの操作がなされる確認操作部と、

該操作部からの注文内容を前記表示手段に表示させ、確認の操作がなされると、その注文内容を、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送する制御手段とを備えたことを特徴とするオーダーミナル。

【請求項 3】 前記制御手段は、更に、前記伝送手段を介して前記センターからの情報を受信して、前記表示手段に表示させるものであることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のオーダーミナル。

【請求項 4】 前記制御手段は、更に、前記伝送手段を介して前記センターからの情報を受信して、その情報をスピーカを介して出力するものであることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載のオーダーミナル。

【請求項 5】 薄形筐体に前記表示手段、前記操作部及び前記制御手段を設けたことを特徴とする請求項 1、2、3 又は 4 記載のオーダーミナル。

【請求項 6】 トレイに前記表示手段、前記操作部及び前記制御手段を設けたことを特徴とする請求項 1、2、3 又は 4 記載のオーダーミナル。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は無線伝送等を用いレストラン等の注文内容をセンターに伝送するオーダーリングシステムに使用するオーダーミナルに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種のオーダーミナルは、例えば商品カタログ（OK I レストランオートメーションシステム／IN02792 /1992.3 (α) 7.B.B）に開示されるものがあり、ウェイタ・ウェイトレスがお客様の注文を受け、オーダーミナルを操作し、センター（厨房）に注文を伝送するものである。図 1 3 は従来の一般的なオーダーミナルの外観を示す斜視図、図 1 4 は図 1 3

のオーダーミナルを用いたオーダーリングシステムの構成を示すブロック図である。図において、50 はオーダーミナル、51 は無線基地局、52 は処理装置、53 はレジ端末、54 はキッチンプリンタ、55 は液晶表示器、56 はメニュー選択部、57 はファンクションキー部である。

【0003】 従来のオーダーミナルは上記のように構成されており、レストラン等で、ウェイタ・ウェイトレスがオーダーミナル 50 を持ってお客様のところに行き、お客様から注文を聞き、その場でオーダーミナル 50 に注文内容を入力した後、無線基地局 51 にその注文内容を伝送し、処理装置 52 で注文内容进行处理し、レジ端末 53、厨房のキッチンプリンタ 54 等に注文内容を送り、オーダーミナルからオーダーアウトまでの情報を一括管理して業務を円滑、スピーディー、そして確実に行えるようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上記のような従来のオーダーミナルは、ウェイタ・ウェイトレスがオーダーミナルを持ってお客様のところに行き、お客様から注文を聞き、その場でオーダーミナルに注文を入力し、注文を取るようになっているから、

1. 人手不足などでウェイタ・ウェイトレスが足りないとき、なかなか注文を取りに行くことができない。

2. ウェイタ・ウェイトレスを雇うと人件費が増大してしまう。

3. ウェイタ・ウェイトレスが忙しいとき、なかなか注文を取りに行くことができない。

4. 口下手の人や障害で話すことができない人にとって、ウェイタ・ウェイトレスに注文を伝えるのが苦痛になる。

5. メニューで料理名が長い、カタカナ表示、外国語表示等ではお客様が言い間違えたら恥ずかしい又は言うのが面倒であると思ってしまう。

6. 注文したものが何分まで来るのか分からないので、お客様がいらしてしまふ。

7. オーダーミナルはウェイタ・ウェイトレス専用に設計されているので、お客様が操作することは困難である。

等という問題点があった。

【0005】 本発明は、このような問題点を解決するためになされたものであり、お客様自身が直接注文の操作ができ、お客様に待ち時間等の情報を知らせる等のお客様へのサービス向上、さらに、人件費削減、回転率アップ、情報の集中管理等のレストラン・ファーストフードの業務の効率化を図ることができるオーダーミナルを得ることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 第 1 の発明に係るオーダーミナルは、注文操作の操作案内及びメニューを表示

する表示手段と、操作案内に従って操作され、少なくともメニュー及びその数量が選択操作されると共に、確認又は取消しの操作がなされる操作部と、操作部からの注文内容を表示手段に表示させ、確認の操作がなされると、その注文内容を、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送する制御手段とを備えたものである。

【0007】第2の発明に係るオーダーミナルは、注文操作の操作案内を表示する表示手段と、メニューを絵で表示したメニュー表示手段と、メニュー表示手段に表示された各メニューに設けられ、操作案内に従って操作され、少なくともメニュー及びその数量が選択操作される選択操作部と、操作案内に従って操作され、注文内容の確認又は取消しの操作がなされる確認操作部と、操作部からの注文内容を表示手段に表示させ、確認の操作がなされると、その注文内容を、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送する制御手段とを備えたものである。

【0008】第3の発明に係るオーダーミナルは、制御手段は、更に、伝送手段を介してセンターからの情報を受信して、表示手段に表示させるものである。第4の発明に係るオーダーミナルは、制御手段は、更に、伝送手段を介してセンターからの情報を受信して、その情報をスピーカを介して出力するものである。

【0009】第5の発明に係るオーダーミナルは、薄形筐体に表示手段、操作部及び制御手段を設けたものである。第6の発明に係るオーダーミナルは、トレイに表示手段、操作部及び制御手段を設けたものである。

【0010】

【作用】第1の発明においては、表示手段により、注文操作の操作案内及びメニューが表示され、操作案内に従って操作される操作部により、少なくともメニュー及びその数量が選択操作されると共に、確認又は取消しの操作がなされ、制御手段により、操作部からの注文内容が表示手段に表示され、確認の操作がなされると、その注文内容が、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送される。

【0011】第2の発明においては、表示手段により、注文操作の操作案内が表示され、メニュー表示手段により、メニューが絵で表示され、メニュー表示手段に表示された各メニューに設けられ、操作案内に従って操作される選択操作部により、少なくともメニュー及びその数量が選択操作され、操作案内に従って操作される確認操作部により、注文内容の確認又は取消しの操作がなされ、制御手段により、操作部からの注文内容が表示手段に表示され、確認の操作がなされると、その注文内容が、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送される。

【0012】第3の発明においては、制御手段により、更に、伝送手段を介してセンターからの情報が受信され、表示手段に表示される。第4の発明においては、制

御手段により、更に、伝送手段を介してセンターからの情報が受信され、その情報がスピーカを介して出力される。第5の発明においては、薄形筐体に表示手段、操作部及び制御手段が設けられる。第6の発明においては、トレイに表示手段、操作部及び制御手段が設けられる。

【0013】

【実施例】

実施例1. 図1は本発明の一実施例に係るオーダーミナルの外観を示す正面図、図2はこの実施例のオーダーミナルの使用例を示す図、図3はオーダーミナルの構成を示すブロック図、図4はオーダーミナルを用いたオーダーリングシステムの構成を示すブロック図である。図において、1はオーダーミナル、2は操作ガイド、メニュー、注文数量、合計支払い金額及びセンターからの情報等を表示する液晶表示パネル、3はメニュー及び注文数量等を入力するテンキー、4は操作の訂正及び確認やウエイタ・ウエイトレスを呼び出すときに操作するキーから構成されるファンクションキーでありテンキー3及びファンクションキー4とで操作部を構成している。5はセンターからの情報を出力するスピーカ、6はオーダーミナル1からの情報を出力するアンテナ、7はテーブル、8は椅子である。オーダーミナル1は、図2に示すようにお客様のテーブルの上に置かれ、お客様が直接操作できるようになっている。

【0014】20はオーダーミナル1の制御を行う制御回路、21はアンテナ6を送信と受信で共用させるアンテナ共用器、22は送信回路、23は受信回路であり、アンテナ6、アンテナ共用器21、送信回路22及び受信回路23で伝送手段を構成している。24はレストランの保守者が、お客様の操作には関係のない部分で、テーブル番号（お客様の位置情報）等の入力操作を行う保守用操作キー、25はオーダーミナル1に直流電圧DCを供給する電池、30はセンター（厨房）の無線基地局、31は無線基地局からの情報を処理または処理した情報を無線基地局に出力する処理回路、32はセンター（厨房）での操作を行う操作パネル、33はレジ端末、34は処理装置31からの情報を表示する大型ディスプレイ、35はキッチンプリンタである。

【0015】次に、この実施例のオーダーミナル及びオーダーミナルを用いたオーダーリングシステムの動作について説明する。オーダーミナル1はお客様のテーブルの上に置かれ、お客様自身が液晶表示パネル2に表示される操作指示に従って、テンキー3及びファンクションキー4を操作して注文操作ができるようになっている。

【0016】まず、お客様自身がオーダーミナル1を操作し、注文をすると、その情報は制御回路20で処理され、その情報は送信回路22を介して外部に送信される。そして、その送信された情報はセンター（厨房）の無線基地局30で受信されて処理装置31で処理され、

10

20

30

40

50

その情報がレジ端末 3 3、大型ディスプレイ 3 4 及びキッチンプリンタ 3 5 に送られる。そして、キッチンプリンタ 3 5 からはお客様からの注文がプリントアウトされ、大型ディスプレイ 3 4 には、テーブル番号、注文メニュー、数量等が時系列的に表示され、センター（厨房）にいる関係者全員が業務の進行状況を把握できるようになっている。

【0017】また、センター（厨房）からは、操作パネル 3 2 を操作してオーダーミナル 1 に、売り切れ情報、価格情報、料理の待ち時間等の情報を送信する。オーダーミナル 1 はそれを受信し、その情報を液晶表示パネル 2 に表示、または、制御回路 2 0 の中の音声合成回路によりスピーカ 5 を駆動し音声として出力する。また、スピーカ 5 からはお客様が注文後、「只今注文をお受けしました」、「出来上がるまで暫くお待ちください」等のメッセージや料理が出来上がったとき、「只今お料理をお持ちいたします」等のメッセージも出力される。

【0018】また、この実施例のオーダーミナル 1 の構造は、メニューのイメージを持たせるために、薄型構造にしたものである。したがって、内蔵のバッテリー 2 5、無線の送信回路 2 2、受信回路 2 3 等は薄型に設計し、アンテナ 6 も操作性をよくするためにオーダーミナル 1 に内蔵させるようにしている。

【0019】この実施例では、オーダーミナル 1 をお客様自身が操作し注文をすることができ、お客様がセンター（厨房）からの情報をオーダーミナル 1 から得ることができるので、お客様のストレスを解消でき、お客様へのサービスを向上することが可能となり、さらに、人件費の削減、業務の効率化、情報の集中管理などにより、レストラン等の経営効率化を図ることが可能となる。

【0020】実施例 2、図 5 は本発明の他の実施例に係るオーダーミナルの外観を示す斜視図、図 6 はこの実施例のオーダーミナルの構成を示すブロック図である。図において、2 6 はメニューが表示される絵表示メニュー、2 7 はメニューを選択する選択ボタンである。

【0021】この実施例では、実施例 1 と同様にテーブルの上にオーダーミナル 1 が置かれ、お客様が絵表示メニュー 2 6 をみてメニューを選び、オーダーミナル 1 の選択ボタン 2 7 を押すことで注文を行う。そして、オーダーミナル 1 の情報はアンテナ 6 から送信され、センター（厨房）にその情報が伝送される。また、センター（厨房）からの情報は液晶表示パネル 2 上に表示される。

【0022】また、この実施例のオーダーミナル 1 の構造は、メニューのイメージを持たせるために、薄型構造にしたものである。したがって、内蔵のバッテリー 2 5、無線の送信回路 2 2、受信回路 2 3 等は薄型に設計し、アンテナ 6 も操作性をよくするためにオーダーミ

ナル 1 に内蔵させるようにしている。この実施例においても、実施例 1 と同様に、お客様のストレスを解消でき、お客様へのサービスを向上することが可能となり、さらに、人件費の削減、業務の効率化、情報の集中管理などにより、レストラン等の経営効率化を図ることが可能となる。

【0023】実施例 3、図 7 は本発明の他に実施例に係るオーダーミナルの外観を示す斜視図、図 8 はこの実施例のオーダーミナルの構成を示すブロック図である。図において、4 0 はメニューの表示、メニューの選択、数量の入力等を入力する液晶タッチパネルである。この実施例では図 7 に示すように、メニューの表示、メニューの選択、数量の入力等すべてを液晶タッチパネル 4 0 上で行うものである。このオーダーミナル 1 は実施例 1 と同様にテーブルの上にオーダーミナル 1 が置かれ、お客様が液晶タッチパネル 4 0 上に表示された、メニュー及び操作指示などにより、液晶タッチパネル 4 0 上をタッチすることで注文を行う。そして、オーダーミナル 1 の情報はアンテナ 6 から送信され、センター（厨房）にその情報が伝送される。また、センター（厨房）からの情報は液晶タッチパネル 4 0 上に表示される。

【0024】次に、この実施例の注文操作について説明する。図 9 ～図 1 1 はこの実施例の注文操作中の液晶タッチパネル 4 0 上の表示例を示す図である。まず、液晶タッチパネル 4 0 上には注文操作の操作案内及び最初のメニューが表示される（図 9 の画面 1）。次に、“次頁”と表示されているところをタッチすると、次のメニューが表示される（図 9 の画面 2）。ここで、メニュー 7 に表示されているものを注文するために、“メニュー 7”のところをタッチすると、その数量を入力する画面になる（図 9 の画面 3）。そして、“増”または“減”のところをタッチして目的の数量になるようにする。

【0025】次に、次の注文をするために“次の注文”のところをタッチすると、また最初のメニューが表示される（図 1 0 の画面 4）。ここで、メニュー 5 に表示されているものを注文するために、“メニュー 5”のところをタッチすると、その数量を入力する画面になる（図 1 0 の画面 5）。そして、“増”または“減”のところをタッチして目的の数量になるようにする（図 1 0 の画面 6）。

【0026】次に、さらに注文をするために、“次の注文”のところをタッチすると、また最初のメニューが表示される（図 1 1 の画面 7）。ここで、メニュー 3 に表示されているものを注文するために、“メニュー 3”のところをタッチすると、その数量を入力する画面になる（図 1 1 の画面 8）。そして、“増”または“減”のところをタッチして目的の数量になるようにする。

【0027】以上のようにして、注文するものと、その数量がすべて入力できたら、“完了”のところをタッチ

して注文を完了させる。すると、図 1 1 の画面 9 に示すように出来上がりの時間などの情報が表示される。また、注文操作中に間違い等があり取り消す場合は、“取消”のところをタッチすると前の画面にもどる。また、図 9 ~ 図 1 1 では示していないが、操作途中にその時点の注文の合計金額を表示させることもできる。

【0028】また、この実施例のオーダーミナル 1 の構造は、メニューのイメージを持たせるために、薄型構造にしたものである。したがって、内蔵のバッテリー 2 5、無線の送信回路 2 2、受信回路 2 3 等は薄型に設計し、アンテナ 6 も操作性をよくするためにオーダーミナル 1 に内蔵させるようにしている。

【0029】この実施例においても実施例 1 と同様に、お客様のストレスを解消でき、お客様へのサービスを向上することが可能となり、さらに、人件費の削減、業務の効率化、情報の集中管理などにより、レストラン等の経営効率化を図ることが可能となる。

【0030】実施例 4、図 1 2 の (a) は本発明の他の実施例に係るオーダーミナルの外観を示す斜視図、図 1 2 の (b) はこの実施例のオーダーミナルのオーダーパネルの外観を示す正面図である。図において、4 5 はトレイ、4 6 はトレイ 4 5 上に設けられたオーダーパネル、4 7 はメニューが表示されるメニュー表示部である。

【0031】この実施例では、オーダーミナル 1 はファーストフード等で使用されるトレイ 4 5 上にオーダーパネル 4 6 を設けたものであり、お客様はトレイ 4 5 上のオーダーパネル 4 6 を操作して注文を行う。

【0032】この実施例においても、実施例 1 と同様に、お客様のストレスを解消でき、お客様へのサービスを向上することが可能となり、さらに、人件費の削減、業務の効率化、情報の集中管理などにより、レストラン等の経営効率化を図ることが可能となる。

【0033】

【発明の効果】以上のように第 1 の発明によれば、表示手段により、注文操作の操作案内及びメニューを表示し、操作案内に従って操作される操作部により、少なくともメニュー及びその数量が選択操作されると共に、確認又は取消しの操作がなされ、制御手段により、操作部からの注文内容を表示手段に表示し、確認の操作がなされると、その注文内容を、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送するようにしたので、お客様自身で注文内容をセンターに送ることができるので、お客様のストレスの解消及びお客様へのサービスの向上を図ることができ、さらに、人件費の削減、業務の効率化、情報の集中管理などにより、レストラン等の経営効率化を図ることができるという効果を有する。

【0034】第 2 の発明によれば、表示手段により、注文操作の操作案内を表示し、メニュー表示手段により、メニューを絵で表示し、メニュー表示手段に表示された

各メニューに設けられ、操作案内に従って操作される選択操作部により、少なくともメニュー及びその数量が選択操作され、操作案内に従って操作される確認操作部により、注文内容の確認又は取消しの操作がなされ、制御手段により、操作部からの注文内容を表示手段に表示し、確認の操作がなされると、その注文内容を、注文処理を行うセンターに伝送手段を介して伝送するようにしたので、お客様自身で注文内容をセンターに送ることができるので、お客様のストレスの解消及びお客様へのサービスの向上を図ることができ、さらに、人件費の削減、業務の効率化、情報の集中管理などにより、レストラン等の経営効率化を図ることができるという効果を有する。

【0035】第 3 の発明によれば、制御手段により、更に、伝送手段を介してセンターからの情報を受信し、表示手段に表示するようにしたので、センターからの情報を伝達することができるので、お客様のストレスの解消及びお客様へのサービスの向上を図ることができ、さらに、人件費の削減、業務の効率化、情報の集中管理などにより、レストラン等の経営効率化を図ることができるという効果を有する。第 4 の発明によれば、制御手段により、更に、伝送手段を介してセンターからの情報を受信し、その情報をスピーカを介して出力するようにしたので、センターからの情報を伝達することができるので、お客様のストレスの解消及びお客様へのサービスの向上を図ることができるという効果を有する。

【0036】第 5 の発明によれば、薄形筐体に表示手段、操作部及び制御手段を設けるようにしたので、オーダーミナルが薄形になりメニューのイメージを持たせることができるという効果を有する。第 6 の発明によれば、トレイに表示手段、操作部及び制御手段を設けるようにしたので、トレイにオーダーリング機能を持たせることができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施例 1 に係るオーダーミナルの外観を示す正面図である。

【図 2】本発明の実施例 1 に係るオーダーミナルの使用例を示す図である。

【図 3】本発明の実施例 1 に係るオーダーミナルの構成を示すブロック図である。

【図 4】本発明の実施例 1 のオーダーミナルを用いたオーダーリングシステムの構成を示すブロック図である。

【図 5】本発明の実施例 2 に係るオーダーミナルの外観を示す斜視図である。

【図 6】本発明の実施例 2 に係るオーダーミナルの構成を示すブロック図である。

【図 7】本発明の実施例 3 に係るオーダーミナルの外観を示す斜視図である。

【図 8】本発明の実施例 3 に係るオーダーミナルの構成を示すブロック図である。

【図 9】本発明の実施例 3 に係るオーダーミナルの液晶タッチパネル上の表示例を示す図である。

【図 10】本発明の実施例 3 に係るオーダーミナルの液晶タッチパネル上の表示例を示す図である。

【図 11】本発明の実施例 3 に係るオーダーミナルの液晶タッチパネル上の表示例を示す図である。

【図 12】本発明の実施例 4 に係るオーダーミナルの外観を示す斜視図である。

【図 13】従来のオーダーミナルの外観を示す斜視図である。

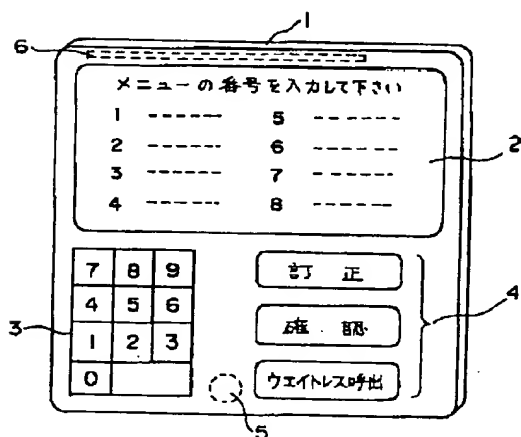
【図 14】図 13 のオーダーミナルを用いたオーダーシステム構成を示すブロック図である。

# 【符号の説明】

- 1 オーダーミナル
- 2 液晶表示パネル（表示手段）
- 3 テンキー（操作部）
- 4 ファンクションキー（操作部、確認操作部）
- 5 スピーカ
- 6 アンテナ
- 20 制御回路

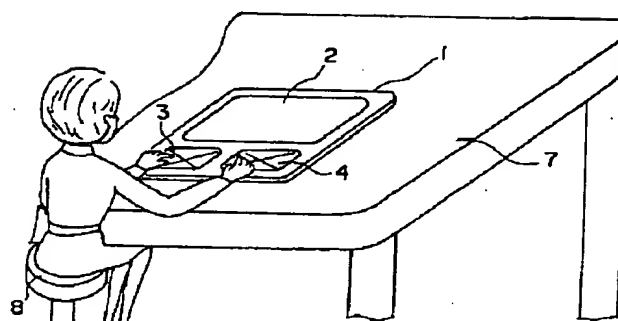
- 21 アンテナ共用器
- 22 送信回路
- 23 受信回路
- 24 保守用操作キー
- 25 電池
- 26 絵表示メニュー
- 27 選択ボタン（選択操作部）
- 30 無線基地局
- 31 処理装置
- 32 操作パネル
- 33 レジ端末
- 34 大型ディスプレイ
- 35 キッチンプリンタ
- 40 液晶タッチパネル（表示手段、操作部）
- 45 トレイ
- 46 オーダパネル
- 47 メニュー表示部

【図 1】



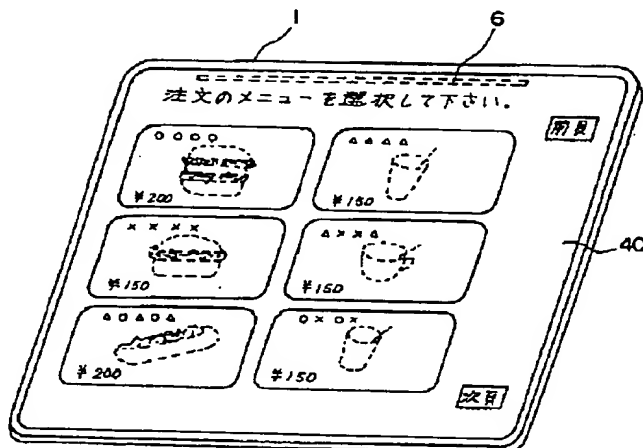
実施例 1 のオーダーミナルの外観を示す平面図

【図 2】



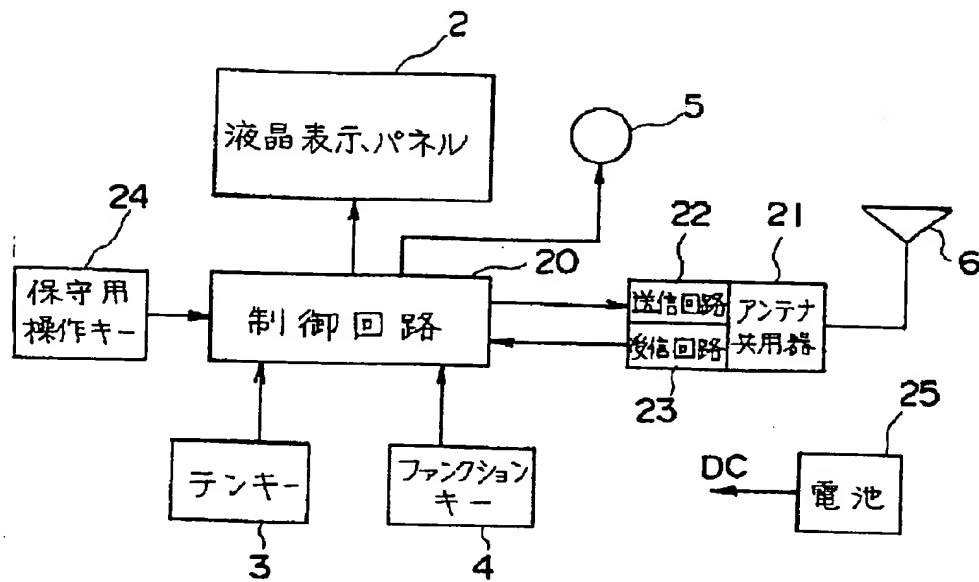
実施例 1 のオーダーミナルの使用例を示す図

【図 7】



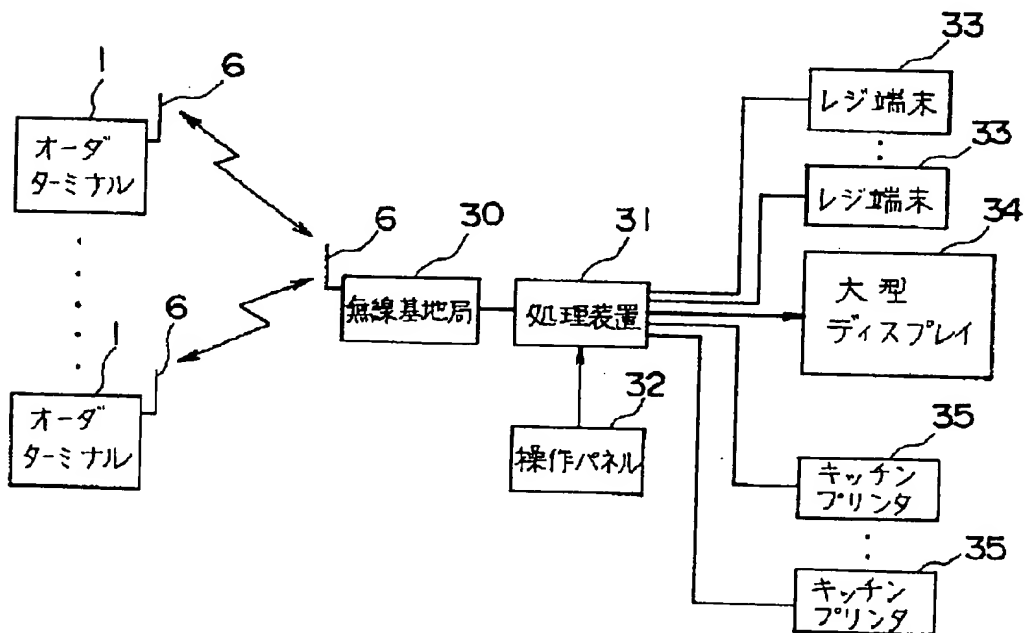
実施例 3 のオーダーミナルの外観を示す斜視図

【図 3】



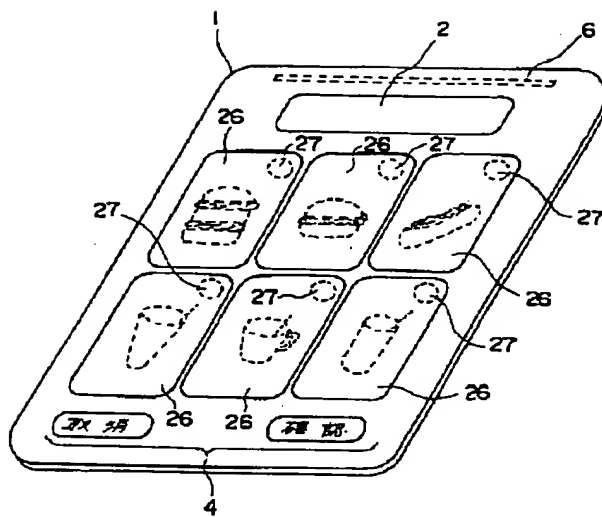
実施例 1 のオーダーミナルの構成を示すブロック図

【図 4】



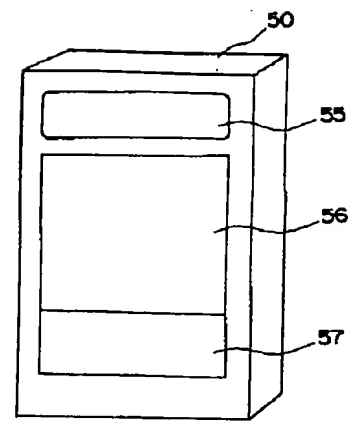
実施例 1 のオーダーミナルを用いたオーダーリングシステムの構成を示すブロック図

【図 5】



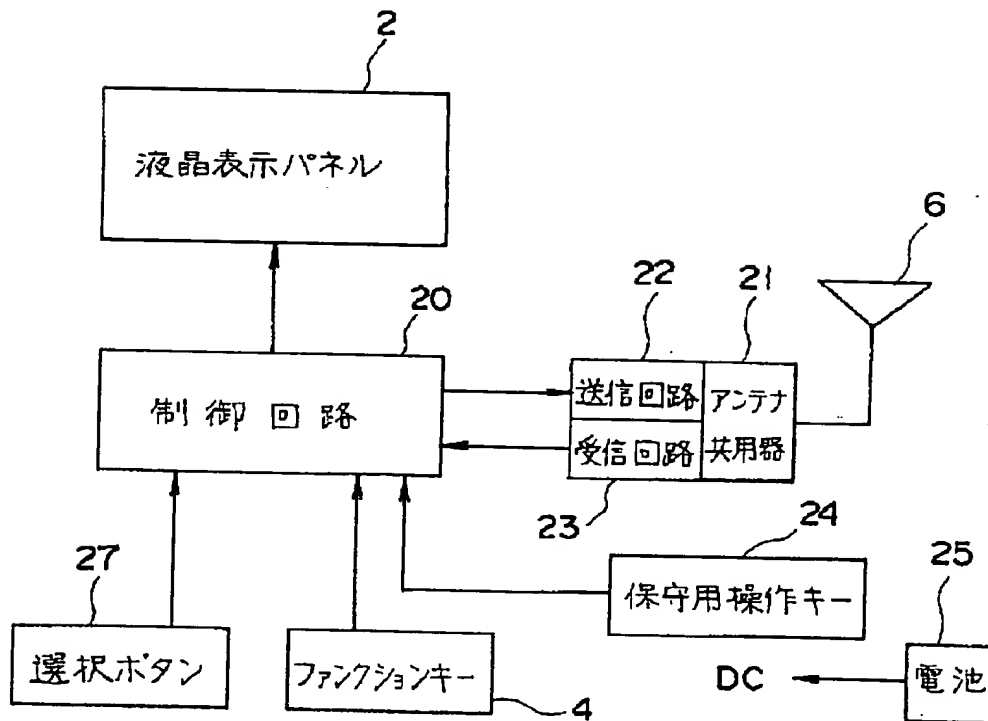
実施例 2 のオーダーミナルの外観を示す斜視図

【図 13】



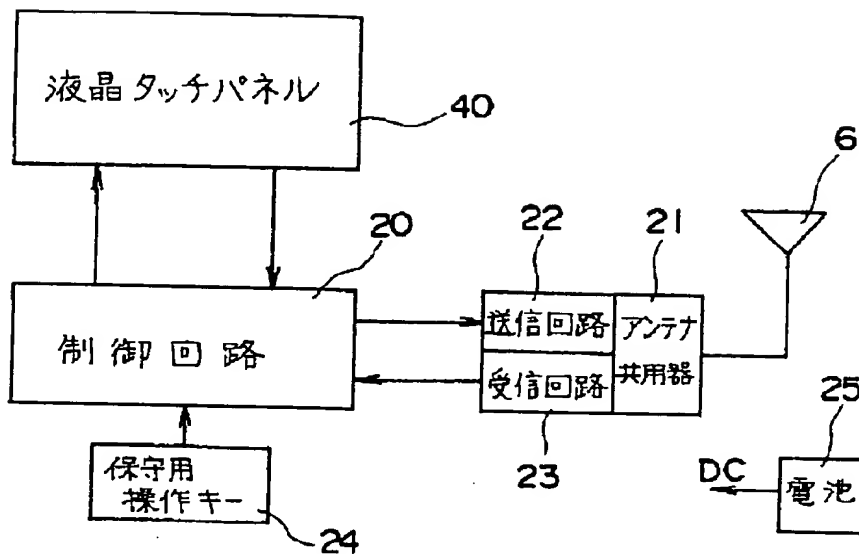
従来のオーダーミナルの外観を示す斜視図

【図 6】



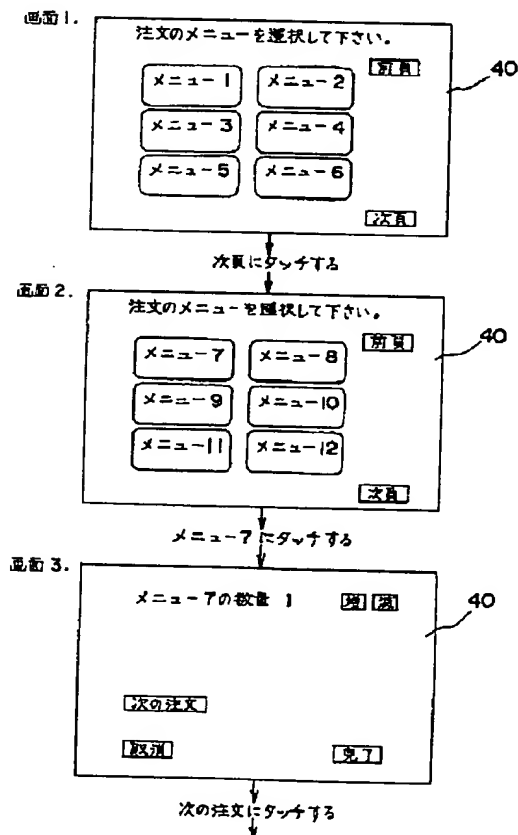
実施例 2 のオーダーミナルの構成を示すブロック図

【図 8】



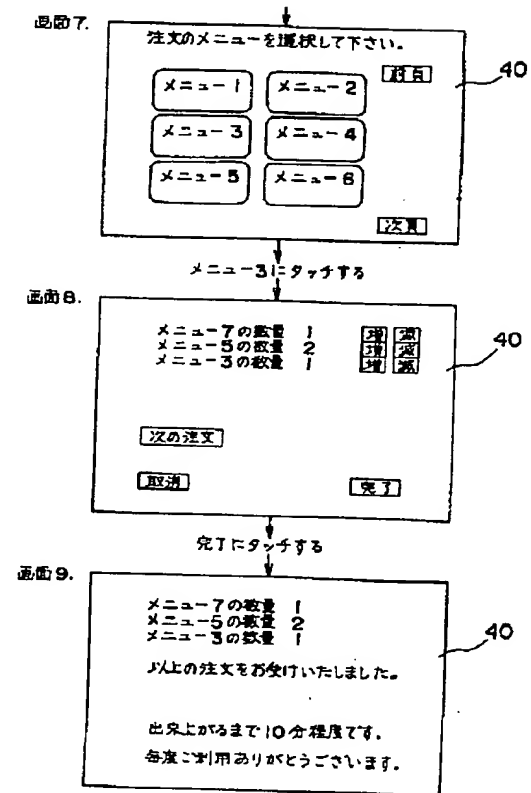
実施例 3 のオーダーミナルの構成を示すブロック図

【図 9】



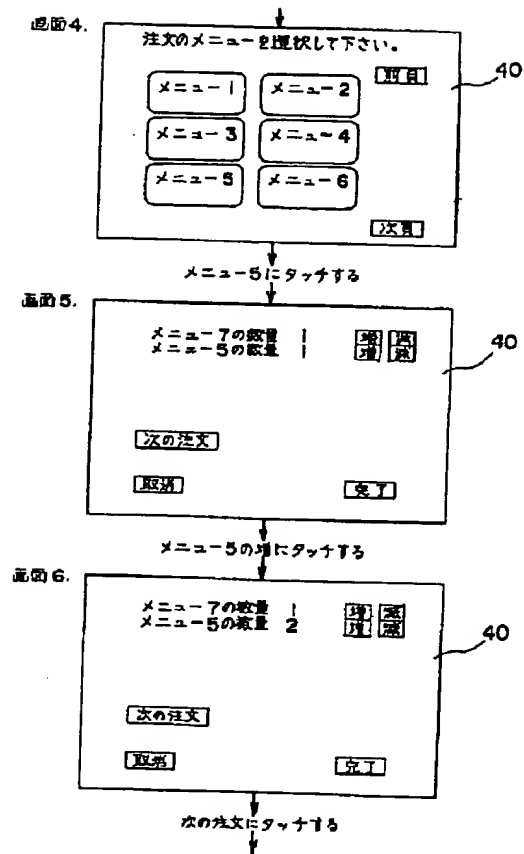
実施例 3 の液晶タッチパネルの表示例を示す図

【図 11】



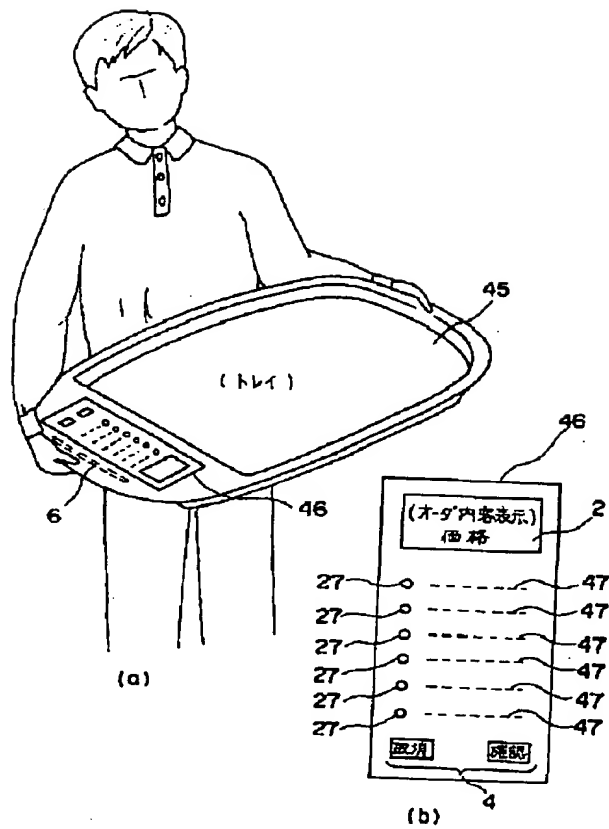
実施例 3 の液晶タッチパネルの表示例を示す図

【図 10】



実施例3の液晶タッチパネルの表示例を示す図

【図 12】



実施例4のオーダーミナルの外観を示す図

【図 14】

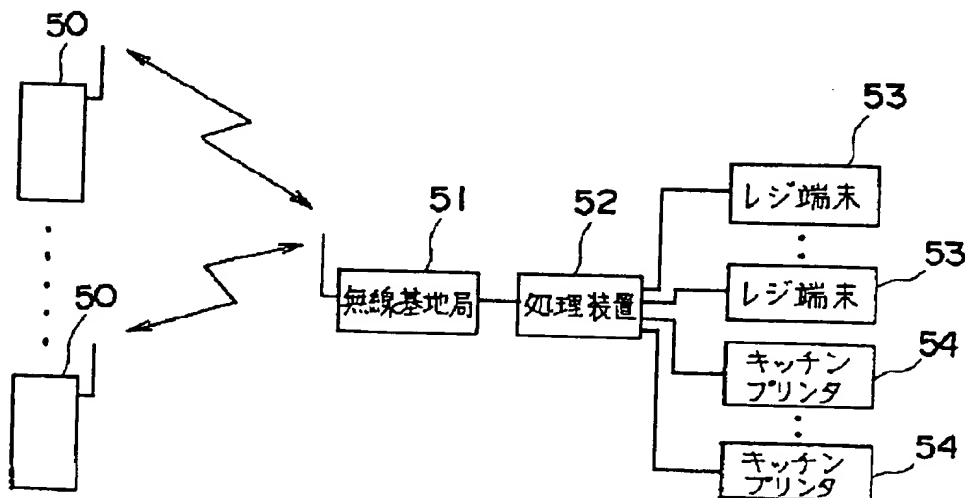


図 13 のオーダーミナルを用いたオーダーリングシステムの構成を示すブロック図